

## クラブ奉仕セミナー

7月7日(日) 於：天童ホテル

### 「地区クラブ奉仕

#### グループセミナー記」



クラブ奉仕グループ  
カウンセラー・PG

塚原 初男

新関彌一郎（天童東）年度最初の事業、表記地区セミナーが、天童ホテルにおいて、地区内全51（前年度52）クラブから計193名もの多数の参加者を得て開催、クラブ奉仕及び職業奉仕の2大奉仕について研鑽を深め合った。

ロータリーの目的（旧綱領）唱和の後、新関Gから、先に野々村政昭（山形）PGが審議委員を務め、3年間に1度開催され、今年度当初より実行されるRI規定審議会の採択内容が、資料に基づいて紹介された。

前年度の全52クラブ中（今年度51クラブ）資料作成現在98%、当日現在100%の回収率に基づくアンケート報告では、坂部登（山形西）委員長よりクラブ管理運営について、高橋寛人（天童西）委員長（代理池田一郎委員・酒田湊）よりロータリー情報について、守屋文夫（酒田スワン）委員長よりクラブ25について、清野義勝（立川）委員長より会員増強について、中川善雄（山形東）委員長より広報について、それぞれ資料に基づいて適切な報告が行なわれた。また、鈴木一作（寒河江）委員長より職業奉仕について資料に基づいて適切な報告が行なわれ、夫々質疑応答が行なわれた（当日配布資料参照）。

代表的クラブの活動事例紹介では、ガバナー事務所と6委員会推薦の（ ）内計12クラブから、クラブ管理運営（新庄、山形西）、ロータリー情報（村山ローズ、米沢中央）、クラブ25（酒田スワン、大江）、会員増強（鶴岡南、山形中央）、広報（山形東、南陽東）、職業奉仕（寒河江、米沢上杉）について、夫々興味深い報告があり、質疑応答が行なわれた。

その後、カウンセラー役の筆者からは「地区委員会委員をもっとクラブのスピーチ役などに活用

して欲しい」、安孫子貞夫PGからは「例会はロータリーを学ぶ大切な機会」等々の講評、新関Gからは謝辞があり、今回は例年に無く発言者の多い盛会なセミナーであった。



### 「クラブ管理運営委員会」



クラブ管理運営委員会  
委員長 坂部 登

先月の地区クラブ奉仕グループセミナーには、塚原パストガバナーをカウンセラーにむかえ、多くの地区会員にご出席をいただき、心より感謝申し上げます。

クラブ管理運営委員会は、クラブ運営のスタートにあたり責務として確認をしなければならない事柄をいくつか申し上げました。

第1に、目標の設定です。会員拡大、四大奉仕事業の計画、ロータリー財団、米山奨学会等具体的な数値目標を立てましょう。第2に効果的な例会運営とプログラムの充実です。第3に会員とのコミュニケーションをはかるために、情報提供・交換の場づくりとして、例会・クラブ会報・ウェブサイト等の活用です。第4に親睦です。例会の親睦プログラム、他クラブの交流、ご家族・ロータリーファミリーとの交流、趣味の会等の開催。第5に出席に対する認識を高める事です。会員の三

## クラブ奉仕セミナー

大義務の1つである出席は、メイクを含めた50%以上の出席率。所属クラブには30%以上の出席率。4回連続の欠席をしてはならない事などです。第6にクラブ運営としての収支のバランスとニコニコ・スマイルの運用です。

このような内容を担当するそれぞれの委員会が着実に実行される事が活力あるクラブ運営につながるものと思います。また、この度のセミナーにおいて、アンケートの集計や各クラブの活動報告などクラブ運営に参考になる事項があれば幸いです。

### 会員増強委員会



会員増強委員会  
委員長 清野 義勝

新関ガバナーの年度に入った早々、7月7日に天童ホテルを会場にして、クラブ奉仕グループセミナーが開催されました。第2800地区の会員数は、1,624名（2013年6月末現在）であり、年々減少の傾向にあります。会員の減少原因は、経済環境・中小企業経営者の高齢化・後継者不足など様々な問題があげられますが、これにストップをかけないと組織の存続が危ぶまれます。

セミナー開催の前に52クラブにアンケートを実施し協力して頂きました。①各クラブの会員数に



ついて②会員増強活動の取り組みについて③ロータリーの理解を深めるために行なっている広報以外の取り組みについての3つの項目を設定しました。各クラブともそれぞれ活発な取り組みがなされていてとても参考になりました。地区全体としては、3年前と現在の会員数の推移について増が32名、減が100名で68名の減少であります。

新関ガバナーは、各クラブの会長を先頭に全ての会員が「一人がひとり」を推薦しそれを各ブロックごとにまとめて、誘導する行動を起こしたいとのことあります。そこで会員増強委員会としては、地区の事務所より会員紹介カードを作成していただき、会員増強月間である8月中に51全クラブに配布し協力をお願いする予定であります。

会員同士で切磋琢磨し、自分の品格を高め、地域社会の発展のために何か役に立つ行動を実践していくためにも、みんなで会員増強に汗を流していくことを切にお願いいたします。

### 職業奉仕委員会



地区職業奉仕委員会  
委員長 鈴木 一作

ロータリーにおけるフォーラムは、「基調講演、テーブルディスカッション、テーブル発表が各々30分（合計90分）」というのが一般的なやり方でしょう。すなわち、基調講演の内容を踏まえながら、ロータリアンがテーブル毎に互いの意見を言い合い、それをテーブル毎に発表し合うというものです。

異業種の企業経営者から成るロータリアンは、各々の企業目標や経営手法が違うのは当然です。だからこそ、そこで出される意見は様々であり、しかも理にかなったものばかりです。当然、誰の意見も互いに参考になるであろうし、そこに敬愛や尊敬の念を伴う深い友情も生まれます。まさし

## クラブ奉仕セミナー

く、そういうフォーラムはロータリーだからこそ出来ることであって、最もロータリーらしいプログラムと言えるのではないのでしょうか。もちろん、フォーラムでは結論は出しません。理事会は、そこで発表された様々な意見を踏まえながらクラブ運営をしていくことで、より良いクラブを目指していけるのです。

しかし、今回の2800地区アンケート調査では、職業奉仕フォーラムは約6割のクラブが実施していませんでした。また、実施していると回答したクラブでも、職業奉仕に関する卓話だけの場合も少なくありませんでした。会員増強や退会防止が叫ばれている今だからこそ、ロータリーだからこそ出来る、そして最もロータリーらしいプログラムであるフォーラムを、ぜひ実施していきたいものです。フォーラムは、ロータリアンに啓発や親睦をもたらし、クラブには発展をもたらします。一方、各クラブにおける職業奉仕事業は、職場訪問、学生向けの職場体験や職業講話、企業研修会など、どのクラブも工夫をこらしながら実施されていました。クラブの職業奉仕委員会は、それらの事業を実施するだけでなく、それらが職業奉仕の理念の徹底や深化にさらに結びつくよう、話題提供や問題提起、時には研修の場を設けることも、責務の一つのように思われます。今後、各クラブにおける職業奉仕事業がますます深化発展を遂げるものと、地区役員一同、期待しております。



### 新関ガバナー年度最初の 「クラブ奉仕グループセミナー」に 参加して



ガバナー月信  
副編集長 増川 誠

7月7日、つゆ晴の蒸し暑い日、2800地区6ブロックから約193名の各クラブ代表者が参集し、天童ホテルは熱気に溢れていました。最初に、「クラブ管理運営について」詳細なアンケート報告がなされ、各小委員会は調査した各クラブの現状や問題点、長所や特色を紹介しました。それについての「質疑・応答」は積極的で、誠意と熱意を感じました。

昼食時に偶々隣席された新関ガバナーは、全セミナーを総括するように力強く『一番大切な事は、ロータリーの理念を正しく深く理解する事です。それさえしっかりしていれば、各クラブは思いっきり自由自在に個性化を図って下さればよい・・・』『小さい事にこだわらず本質的な事を力強く続けよう』のお言葉が胸に響き、一層感銘深いセミナーとなりました。

